

かめやま教育通信

第58回



児童・生徒一人ひとりの学力や学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて

5月27日に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、小学校では国語と算数、中学校では国語と数学に関する教科調査のほか、児童・生徒の学習状況等をとらえるための質問紙調査が行われました。

国語、算数・数学の平均正答率

小学校の国語では、全国・県の平均正答率を上回りました。それ以外の教科については、全国・県の平均正答率を下回りました。また、次のように、本市の子どもの優れている点と課題が分かりました。

【国語】

	優れている点	課題
小学校	主語と述語の関係をとらえること	目的を意識して要約すること
中学校	漢字を読むこと	文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを持つこと

【算数・数学】

	優れている点	課題
小学校	データを表に分類整理すること	三角形の面積を求めること
中学校	データから中央値を求めること	数学的な表現を使って説明すること

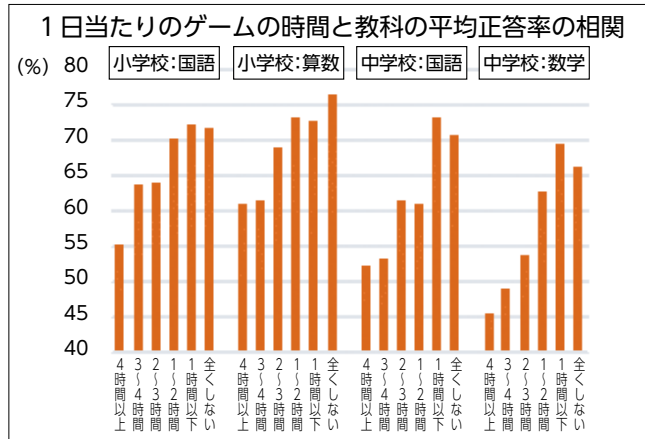
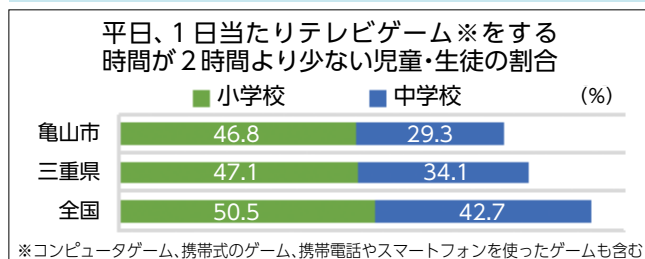
【平均正答率】

(単位：%)

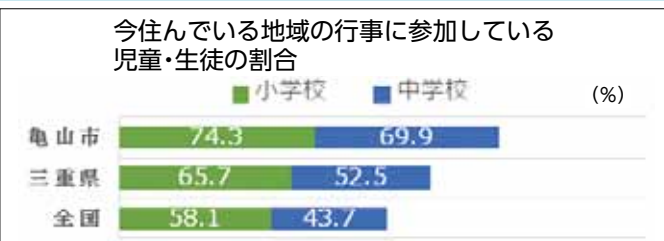
	小学校6年生		中学校3年生	
	国語	算数	国語	数学
亀山市	66.0	68.0	59.0	54.0
三重県	64.1	69.3	63.0	57.7
全国	64.7	70.2	64.6	57.2

児童・生徒の学習状況、生活習慣等

〈基本的生活習慣等〉



〈地域や社会に関わる活動の状況〉



「地域の行事に参加している児童・生徒」や「学校に行くのが楽しいと感じている児童・生徒」の割合が全国平均と比べて高くなっています。一方で、「平日、1日当たりのテレビゲームをする時間が2時間より少ない児童・生徒」や「普段30分以上読書をする児童・生徒」の割合が全国平均と比べて低くなっています。

左のグラフは、1日当たりのゲームの時間と教科の平均正答率の相関関係を表しています。テレビゲームをする時間が短い児童・生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。また、生活習慣と学力向上には、強い相関関係があると言えます。

この調査で把握できる学力や学習状況は一部ですが、調査結果から児童・生徒一人ひとりの学習における課題を把握し、学習の理解と定着を図ることができるように、教職員の授業力向上に力を入れて取り組みます。また、引き続き家庭学習や生活習慣の見直しの啓発を行います。

問合先 教育委員会事務局学校教育課教育支援グループ ☎84-5076